

光を北方から

令和6年度学校だより第4号

<発行責任者>

北海道旭川盲学校

校長 野本 雅明

令和7年3月24日

感動の一年

校長 野本 雅明

「光を北方から」、この学校だよりの表題になりますが、個人的に大変よい表題だと感じております。日本最北の盲学校として、北の大地・旭川から全国へ、子どもたちの成長と旭川盲学校の教育を発信していく。その表題どおり、それを実感できる年でもありました。おかげさまで、学校ホームページも年間視聴件数が15万件を超え、多くの方々に子どもたちの成長と、本校の教育を知っていただくことができたのではと感じております。また、「1日防災学校」の取組や、「旭川冬まつり」への雪像づくりの参加など、地域の方々にも子どもたちの様子を、学校の様子を発信することのできた年であったと感じております。「光を北方から」、これからも日本最北の旭川盲学校から、子どもたちの光を発し続けていきたいと思っております。

さて、令和6年度の学校生活が終了いたしました。毎年この時期になると思うのですが、今年度もあっという間に終わりを迎え、改めてですがこの一年間を振り返っております。この一年は、子どもたちの成長に感動し、それを支えてくださった保護者、地域、関係機関の皆様の姿に感動し、感動の一年でありました。

まず、子どもたちですが、日々の学習をはじめ、校外活動や学校行事への取組、寄宿舎生活など、多くの学びや経験をとおし、大きく成長できた一年であったと感じております。他、本校の特長でもある異学年児童・生徒間の交流や、オンライン、実交流も含めた他校幼児・児童・生徒との共同学習など、多くの体験や経験を積むこともでき、これもまた子どもたちの大きな成長に繋がったと感じております。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

そして、保護者の皆様、この一年を無事に過ごすことができたことはひとえに、保護者の皆様のご協力と温かい支援があったからこそと感じております。子どもたちが安心して学びを深められるようにと、日々サポートしていただいたことに深く感謝しております。また、学校での活動や行事にもご参加いただいたり、PTA活動等でご支援いただいたおかげもありまして、子どもたちが安心して学校生活を送ることができました。本当にありがとうございました。

さらに、地域、関係機関の皆様にも、学校行事への参加や適切なサポート、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。そのおかげもありまして、子どもたちの学びや成長がより確かなものとすることができました。

4月からは新たに「令和7年度」の学校生活が始まります。新年度もまた、旭川盲学校の新たな挑戦が待っていることでしょう。教職員一同、子どもたち一人一人の成長に寄り添いながら、さらに充実した学校生活となるべく、努力していきたいと考えております。そのためにも、今後も保護者、地域、関係機関の皆様との連携・協力を強化し、共に力を合わせて子どもたちを支えていけるよう努めてまいります。今年度は本当にたくさんのご支援、ご協力をありがとうございました。新年度の旭川盲学校もどうぞよろしくお願いいたします。



幼稚部の様子

昨年は苦手としていた活動にも積極的に参加したり、名前を呼んだ際には、手を挙げるだけではなく「は～い」と可愛い声を聞かせてくれたりと、また一つ成長した姿を見せてくれた二人でした。

それ以外にも、友達の名前を呼んだり、遊んでいる友達を呼びに行って朝の会に誘ったり、脱ぎっぱなしにしていた服をロッカーに片付けるように伝えたりするなど、より一層お互いを意識した行動が見られるようになりました。

4月からは年長さんの「ぱんだぐみ」に進級です。少しずつ小学部進学を意識した学校生活を送っていきけるように寄り添っていきたいと考えます。



小学部の様子

3学期は、校長室の目の前の戸から出入りして、中庭での雪遊び、そり滑りを楽しんだ5人でした。校舎の壁に囲まれた空間は、そり滑り用の雪山までのルートもわかりやすく、みんなの笑顔がたくさん見られる魅力的な場所となりました。

今までちょっぴり苦手だった子も、雪山に上って滑ることを何度も繰り返し、校内にいても「シュー（そり滑り）する」とうれしそうに話す姿も見られました。また、冬の外遊びは準備が大変です。上下スキーウェアを着て、外靴に履き替え、手袋と帽子も着用するなど、手間も時間もかかる作業です。しかし、外での活動に期待感をもって回を重ねるごとに準備の時間が短くなっていました。

今年の冬はいつもよりは暖かく、雪も少なめでしたが、来年はどんな生活を過ごすのか・・・今から楽しみです。



中学部の様子

中学部では、姉妹校の鹿児島盲学校とオンライン交流を行いました。事前にクール便で鹿児島に送った北海道の雪のプレゼントは「鹿児島も10cmくらい降ることがあるけど、北海道の雪はさらさらしていて感動した!」と大変好評でした。さらに旭川盲学校からは、どきどきウォークで行った雪まつりから雪像クイズを出題し、本校職員が制作した“きよくディアー”を紹介しました。その後もビンゴゲームやジェスチャーゲームなど、オンラインでも楽しめるゲームで盛り上がりしました。

また、体育活動では今年度も北彩都の歩くスキーコースで恒例のスキー学習を行いました。天候に恵まれ、それぞれ自分にあった距離を時間いっぱい歩きました。本校グラウンドでの日頃のスキー授業が生かされ、昨年よりも上達した姿が印象的でした。この一年間も見通しをもって活動に取り組む様子がたくさん見られ、楽しみながら学習を積み重ねることができました。



寄宿舎の様子

3月12日（水）に進級を祝う会が行われました。会では、スライドショーを観て1年間を振り返りました。4月の歓迎会に始まり、お楽しみ会、食事会、クリスマス会と、どの行事もたくさんの笑顔であふれていました。1年前の写真と比べると、みんなの顔つきが大人っぽくなっていました。自分が映し出されるとにっこりして観ていました。来年度もみんなで仲良く楽しく寄宿舎生活を送ることができたらいいですね。夕食は、ピラフ、ハンバーグ、フライドポテトなど、みんなが大好きなメニューでした。にこにこの笑顔で食事会を楽しみました。



令和7年度「始業式・入学式」について（お知らせ）

- ・日時：令和7年4月8日（火）始業式10時から、入学式10時30分から
- ・登校時間：幼稚部（9時30分）、在校生（8時35分）
- ・下校時間：幼稚部（13時05分）、小・中学部（13時15分）

「始業式・入学式」について、保護者の皆様は令和7年3月24日付けで配付しました「令和7年度入学式について（ご案内）」でご確認ください。

